

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 飛騨センター管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2459)

E-mail: c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 254,277千円 (前年度予算額：245,595千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一般 財源
前年度	245,595	0	0	1,724	151	0	266	0	243,454
要求額	254,277	0	0	1,668	151	0	275	0	252,183
決定額	254,277	0	0	1,668	151	0	275	0	252,183

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

飛騨・世界生活文化センター (以下「飛騨センター」) の管理運営について、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、施設設備の維持管理に係る経費の節減等を図る。

(2) 事業内容

指定管理者が行う業務

- ①施設設備の維持管理業務
- ②施設運営に関する業務
- ③県民文化の振興及び地域の活性化に関する業務 (企画事業)
- ④飛騨センター活用推進協議会事務局に関する業務
- ⑤その他設置目的を達成するための事業の実施

(3) 県負担・補助率の考え方

指定管理業務にかかる総経費見込みから総収入見込み (利用料金収入、事業収入、企業協賛金等外部資金) を引いた差額を指定管理料として支払う。

(指定管理者からの事業計画書、収支計画書を基に協議)

$$[指定管理料] = [指定管理業務にかかる経費] - [利用料金収入 + 事業収入]$$

(4) 類似事業の有無

ふれあい会館に係る管理運営費（指定管理）

ぎふ清流文化プラザに係る管理運営費（指定管理）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	244,277	指定管理料(指定期間 R3～R7)
その他	10,000	飛騨センター活用推進協議会負担金
合計	254,277	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

①「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

(2) 事業主体及びその妥当性

指定管理者制度を導入することにより、指定管理者が有する能力を活用して住民サービスの向上を図るとともに、施設設備の維持管理に係る経費の節減等を行うことが可能であるため、飛騨センターの維持管理を指定管理者が行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するため、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

指標に関しては数値化が困難なため、専門家等により構成する評価員会議の意見を聴いて、管理状況についての評価を行っている。

公表ページ：

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/gyosei-kanri/shitei-kanri/11116/>

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
飛騨センターの管理等に関する以下の業務を行っている。
 - ・施設の運営に関する業務（コンベンションホール、芸術堂、会議室の貸館業務等）
 - ・施設及び設備の維持管理業務（保守点検、清掃、警備、緑地管理等）
 - ・県民文化の振興に関する業務（各種イベント、コンサート等の自主企画事業）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
生活文化を中心とした県民の文化活動及び交流の場を提供するとともに、県民ニーズに応じた良質なサービスを提供することにより、県民文化の振興や地域社会の活性化に寄与する。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
<p>(評価)</p> <p>○</p>	<p>公共施設の管理は、県による直接管理又は指定管理者による管理となるが、住民サービスの向上や管理に係るコストの削減を考慮した結果、飛騨・世界生活文化センターにおいては、民間のノウハウを利用する指定管理者制度を導入する方が有利であると判断し、指定管理者による施設の管理業務を行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
<p>(評価)</p> <p>○</p>	<p>外部の専門家等で構成する評価員会議においてきわめて高い評価をいただいている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
<p>(評価)</p> <p>○</p>	<p>指定管理料相当額（管理運営コスト）は指定管理制度導入以前と比較すると 136,373 千円削減されている。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>施設設備の経年劣化により、飛騨・世界生活文化センターの維持管理に今後支障が生じることが予測されることから、中長期的な施設設備の修繕計画を作成し、計画的な修繕や設備の更新を実施していく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>これまでの指定管理業務で培われたノウハウを有効に活用し、利用者の利便性の向上に努めるとともに、地元自治体や地域住民、民間団体等と連携し、県民文化の振興に資する文化事業を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	